

・作業内容 配電線張替え（夜間作業）

平成29年8月22日

・区間 日野～三峰口

・柱番号 30～38

秩父建設 皆野事業所

・図面 別紙

・実施予定日 平成 年 月 日

・作業手順

① 準備 準備作業は昼間に行う。（別紙）配電線張替え（昼間作業）

② 配置 ・太字の方が、各班の責任者です。（◎は指揮者）

A班 坂野・井桁 B班 渡辺・新井マ C班 近藤・石原 D班 川澄・松村 E班 井深・瀧澤 >◎新井カ・富田

A班 主に、30号・31号柱 29号柱、逃止め用にシメラーを掛ける。 圧縮スリーブ接続 スリーブ接続（内・外のみ全員で見る）

旧線引下げ・新線引上げ、バインド線打ち直し・・・、余裕があったら他の柱に応援、旧線撤去、跡確認・2重チェック

B班 主に、32号・33号柱 新線引き上げ後、不要になった工具類の撤去 スリーブ接続（内・外のみ全員で見る）

旧線引下げ・新線引上げ、バインド線打ち直し・・・、余裕があったら他の柱に応援、旧線撤去、跡確認・2重チェック

接地取外し（渡辺）

C班 主に、34号・35号柱 新線引き上げ後、不要になった工具類の撤去 スリーブ接続（内・外のみ全員で見る）

旧線引下げ・新線引上げ、バインド線打ち直し・・・、余裕があったら他の柱に応援、旧線撤去、跡確認・2重チェック

接地取外し（近藤）

D班 主に、36号・37号柱 新線引き上げ後、不要になった工具類の撤去 スリーブ接続（内・外のみ全員で見る）

旧線引下げ・新線引上げ、バインド線打ち直し・・・、余裕があったら他の柱に応援、旧線撤去、跡確認・2重チェック

E班 主に、38柱（引止カ所全般） 新線引上げ担当・・・（新井カ・瀧澤・富田）セビを使用して引上げる。 スリーブ接続（内・外のみ全員で見る）

旧線引下げ・新線引上げ、引止加工、縁回し・バインド線打ち直し・・・、跡確認・2重チェック

検電・接地取付け（新井カ・富田）

## ③ 手順



|    |        |  |            |
|----|--------|--|------------|
| 1  | 終列車確認  | 日野構内10B柱にて、終列車確認を行う。   | 新井力        |
| 2  |        | 終列車確認後、線路内下回り準備作業を始める。(井深主任の号令で準備作業開始)   | 井深         |
| 3  | 停電作業   | 日野構内10B柱にて、検電後、接地を取付ける。(運転指令操作・GS操作後、検電する)   | 新井力・富田     |
| 4  |        | 接地取付け終了後、電話連絡後、作業を開始する。(井深主任の号令で作業開始)  | 井深         |
| 5  | 旧線の取外し | 29号柱へ逃止め用に、シメラー(0.5t)を掛ける。×3カ所   | 坂野・井桁      |
| 6  |        | 30号柱・38号柱付近に固定しておいたOE線を取外す。  | B班・E班      |
| 7  |        | 各持分のバインド線を解く。(内・外)線のみ・・・(手があいたら他の場所を手伝う)   | A～D班       |
| 8  |        | バインド線が解けたら、38号柱の引止カ所に弛みを入れ旧線を下す。(内・外)のみ<br>旧線が邪魔ならカットして落としてもOKです。まだ、中線は一切いじりません・・・                               | E班<br>A～D班 |
| 9  | 新線の引上げ | 昼間準備しておいた、新線を引上げる。(上から順番に引上げる・・・上から1番目・2番目・3番目)  | A～E班       |
| 10 |        | 1番目のOE線を外側(山側)を回して、配電線腕金上部まで引上げる。(ピン碍子:内～中の間に仮置きする。)   | A～E班       |
| 11 |        | 続けて、2番目のOE線も外側(山側)を回して、配電線腕金上部まで引上げる。(ピン碍子:中～外の間仮置きする。)  | A～E班       |
| 12 |        | 内側・外側の位置を合わせて、旧線をカット・・・新線と旧線を圧縮スリーブにて接続する。<br><b>カットした旧線のバインド跡から、カットした所までを3線合わせてカットすれば、3線≒同じ長さになる。</b>           | A～E班(全員)   |
| 13 |        | 12、の作業終了後、各持分に戻ってから次作業に移る。<br>A班30号柱→31・32←33号柱B班      C班34号柱→35・36←37号柱D班      E班引上げ準備・・・                       | A～E班       |
| 14 |        | E班(新井力・瀧澤・富田)にて、セビ・他を利用して、内側のOE線より引上げる。<br>E班(井深)が、引上げたOE線をシメラーに掛けたら、外側のOE線の引上げ作業に入る。                            | E班         |
| 15 |        | (内・外)両方のOE線が、シメラーに掛ったら、無線にて合図しながら、シメラーを調整(取り)していく。<br>その間、各柱に上って、OE線を養生しながらOE線の張力のあんばいを確認する。(中線のデップに影響する手前でSTOP) | A～E班       |
| 16 | 作り込み   | (内・外)の両方のデップが決まったら、引止カ所の作り込みを行う。   | E班         |
| 17 |        | その間に、中線のバインド線を解き、引下げる準備を行う。  | A～D班       |
| 17 | バインド打ち | (内・外)の引止カ所の取付け終了後、各柱のバインド打ちを行う。  | A～D班       |
| 18 |        | (内・外)のバインド打ち終了後、すぐに中線を引下げる。  | A～E班       |

|    |   |       |
|----|---|-------|
| 19 | 3番目のOE線を外側(山側)を回して、配電線腕金上部まで引上げる。(ピン碍子:中～外の間仮置きする。)     | A～D班  |
|    | (12～15) 同作業を繰り返して、中OE線のデップ調整になったら、(内・外)のデップよりも強めに調整する事。 | A～E班  |
| 20 | (16～17) 38号柱の引止カ所の取付けが終了後、各柱の中OE線のバインド打ちを行う。            | A～D班  |
| 21 | バインド打ち終了後、38号柱にて、引止カ所のバインド打ち・縁回し作業を行う。                  | E班    |
| 22 | 各班の上部作業が終了したら、上部の跡確認・2重チェックを行う。                         |       |
| 23 | 29号柱に設置した、逃げ止め用シメラーを撤去する。(跡確認・2重チェックを行う)                | AorB班 |
| 24 | 旧線の撤去・工具・材料の片付けを全員で行う。(大勢にて下回りの跡確認・2重チェックも行う)           | A～D班  |
| 25 | 38号柱の上部作業が終了したら、上部の跡確認・2重チェックを行う。                       |       |
| 26 | 全作業終了後、接地金具の取り外し。(全作業終了後、新井カより近藤氏へ連絡) …跡確認・2重チェックを行う。   | 近藤・渡辺 |
| 27 | 日野構内10B柱のGS投入   |       |
| 28 | 作業終了 三峰口構内まで、楽しくドライブ♪                                   | 新井・富田 |

帰路 準備作業・夜間作業、続けてお疲れさまでした。 帰りの道中、気をつけてお帰り下さい！  
眠たくなったら、トミゾウさんのアホつつらでも思い浮かべながら… 眠気覚ましに… お疲れだった…

|   |   |       |
|---|---|-------|
| ※ | 撤去したOE線はすべて、ユニック車へ積み込んで下さい。(ユニック車にドラム台・空ドラムなど積んでおく) |       |
| ※ | 18日 全ての道具・撤去品を広瀬倉庫に搬入する。                            | 全部なす！ |